

みんなのひろば

図書館を考える会会長

金子 徳郎さん（幌内上町）

『理想の図書館』の創造を目指して



図書館の現状や課題、今後のあり方について幅広い意見を求めるために設置された『図書館を考える会』。町内の各種団体関係者や教育関係者などの委員で組織され、年内をめどに町に提言を行う。会長を務めるのが幌内小学校校長の金子徳郎さん（54歳）。金子さんは5月に行われた第1回会議の冒頭で「図書館こそ、情報の海にこぎ出す町民ひとりひとりの水先案内。会長として、すべての委員と対話をしながら、現在の雄武町

図書館の問題や課題を洗い出し、皆さんの望む図書館の姿を創造していきたい」と決意を込めて挨拶した。

金子さんが幌内小学校に校長として赴任したのは昨年。教育局での勤務経験もある。「図書館を考える会」というものは、図書館を拠点とした町の生涯教育を進めるという意味で、まさに社会教育の仕事そのものだと思います。教育局社会教育指導班としての勤務経験もあった私には、好きな分野と言いますか、こ

の『図書館を考える会』に携われることに喜びを感じています」とその想いを話す。

金子さんが考える理想の図書館。それは各世代が集まるコミュニケーションとしての空間。「ただ本を借りる、本を読むというだけではなく、あるコーナーではコミュニケーションの場であったり、ひとつの文化センターのように、皆さんがいろいろな活動をする事ができる場所、それが図書館であればいいと思います」。

最後に図書館を考える会の展望と会長としての抱負について、「委員の皆さんが図書館を充実させたいという思いを持ちながら、活発な議論を行う会になっていければ。その中で皆さんの声を最後まで聞くことが会長である私の仕事ですし、務めだと思っています」と話してくれた。

クローズアップ
まちのひと

フレッシュトーク

受身にならず自分から動いていきたい

雄武漁業協同組合信用部 泉 尚樹 さん



昨年の4月から雄武漁業協同組合に勤務する泉尚樹さん（23歳）。紋別市出身。地元の高校を卒業後、函館市の大学に進学。就職を決めた理由について、「大学ではスルメイカの心電図計測について卒業研究を行ったので、そのころから水産に興味を持ち始めました。地元が近いということもありますが、職員の皆さんが植林活動やお祭りで積極的に活動していることにも好感を持ち、魅力を感じました」と振り返る。

考え方が広がりとても勉強になります。今は一つ一つ覚えていくことに楽しさを感じながら仕事をしています。受身にならずに自ら動くことで仕事を覚えていき、広く経験を積んでいるんなことに対応できる人になりたいです」と目標を話してくれました。

▲趣味

魚釣り（状況によってさまざまな工夫をしていくことが多いです）

▲性格

人見知り（周りから落ち着きがないと言われることが多いです）

▲好きな女性のタイプ

落ち着いた大人っぽい人

小さな美術館

幌内小学校



古山凜さん（2年）



↑「どうぶつ園」



中 頼我くん（2年）



↑「海の中」



佐藤 琴心さん（1年）



↑「森のなかまたち」

わんぱくキッズ

おおきくなったら

～若草保育所～



はしもと
ほくとくん

おとうさんみたいに
なりたい



おおわ
みそらちゃん

ケーキやさん



いけ
ゆうのすけくん

恐竜を管理する人